

東北大学教育文化研究会 著書・論文等

1. 著書（編著書を含む）

- ・片瀬一男. 2005. 『夢の行方 - 高校生の教育・職業アスピレーションの変容 - 』東北大学出版会.
- ・海野道郎・片瀬一男(編). 2008. 『失われた時代 高校生の意識』有斐閣.

2. 論文

・【第1次調査】

- ・片瀬一男・土場 学. 1994. 「現代家族における教育アスピレーションの加熱と冷却：教育選抜は家族内部にどのように浸透しているか」『社会学研究』 61:41-66.

・【第2次調査】

- ・小松 洋. 1991. 「社会意識の規定因：地域と学歴との関係について」『社会学年報』 20:89-104.
- ・木村邦博. 1998. 「教育、学歴社会イメージと不公平感」『理論と方法』 13(1):107-126.

・【第1次・第2次調査】

- ・片瀬一男・阿部晃士. 1997. 「沿岸地域における学歴主義と教育達成 - 『利口、家もたず、達者、家もたず』 - 」『教育社会学研究』 61:163-183.

・【泉区調査】

- ・潮村公弘. 1995. 「高校生のメディア接触と友人関係の特質について」『対人行動学研究』 13:1-13.

・【第3次調査】

- ・神林博史. 2000. 「性役割意識はアスピレーションに影響するか：高校生女子のアスピレーションの規定因に関する計量的研究」『理論と方法』 15(2):359-374.

・【第4次調査】

- ・神林博史. 2002. 「高校生の規範意識の形成要因」『社会学研究』 72:63-88.
- ・片瀬一男. 2004. 「文化資本と教育アスピレーション：読書文化資本・芸術文化資本の相続と獲得」『人間情報学研究』 9:99-106.
- ・村山詩帆. 2005. 「教育達成過程におけるパーソナリティ特性の役割」『青少年育成研究』 5:39-48.

・【第1次・第3次・第4次調査】

- ・片瀬一男. 2002. 「価値意識の世代間伝達 - 家族における社会化の規定要因 - 」『社会学研究』 72:43-62.
- ・片瀬一男. 2003. 「夢の行方：職業アスピレーションの変容」『人間情報学研究』 8:1-30.
- ・片瀬一男. 2003. 「アノミー型アスピレーションの形成：『著名人アスピレーション』をめぐって」『人間情報学研究』 8:99-106.
- ・片瀬一男. 2003. 「教育アスピレーションの変容」『東北学院大学論集（人間・言語・情報）』 135:1-18.
- ・片瀬一男. 2003. 「きょうだいと教育期待・教育投資」『社会学年報』 32:113-130.

・【第5次調査】

- ・神林博史. 2007. 「高校生の学習時間とメディア接触時間 - 仙台圏の高校生データを用いた分析 - 」『東北学院大学教養学部論集』 147:1-22.
- ・木村邦博. 2007. "Education, Employment and Gender Ideology." Pp.84-109 in Gender and Career in Japan, edited by Atsuko Suzuki. Melbourne: Trans Pacific Press.

・【第6次調査】

- ・木村邦博. 2008. 「高校生の規範意識の現状をどうとらえるか - 『教育と社会に対する高校生の意識』第6次調査から - 」『第47回東北地区私学研修会研究紀要』 47:118-145. 宮城県私立中学高等学校連合会.

・【第1次・第3次・第4次・第5次・第6次調査】

- ・海野道郎. 2009. 「現代日本の不公平感 - 『仙台高校生調査』における20年の変化 - 」『東北文化研究室紀要』 50:左 1-16
- ・神林博史・片瀬一男. 2009. 「親子調査における親欠票の原因 - 仙台高校生調査データを用いた分析 - 」『社会と調査』 2:20-27.

最 終 更 新 時 間： 2013 年 02 月 20 日 15 時 21 分 39 秒
アクセス数：10068